

初めまして！

おおはた章宏よりバトンを引継ぎ 次期衆議院議員選挙に立候補予定

浅野さとし

よろしく
お願いします！



浅野さとし 33歳/妻、子1人/茨城県日立市
 1982年9月 東京都生まれ(33歳)
 2001年3月 東京都立南多摩高等学校卒
 2005年3月 青山学院大学理工学部卒
 2007年3月 青山学院大学大学院 理工学研究科修了(理学修士)
 2007年4月 株式会社日立製作所日立研究所入社
 2013年8月 日立製作所労働組合研究所支部執行委員
 2015年9月 衆議院議員大畠章宏公設第一秘書

めざします！
 「ひと」を支える**共生社会**
 「地域」が輝く**協創社会**
 「いのち」を守る**責任社会**

「浅野さとし」ってどんな人？

詳しくは「コラム哲流」を見てね

浅野さとしの考えを知る
コラム



哲流

第1回 「幼少期」 “前向きさ” “粘り強さ” を身につけた少年時代

サトシイズム

小学校を卒業するまでの間は、保育園や小学校という小さな社会の中で、自分の立ち位置を確かめながら社会に入り込むための力を養う期間だと言われている。私、浅野さとしは、社会に入り込むための力として、「粘り強さ」と「前向きな性格」をこの頃に身につけた。

1982年9月25日、東京都八王子市生まれ。両親は二人とも公務員で共働きだったため家にいる事は少なく、12歳上の姉も学業に忙しかった。そのため、幼い頃はおばあちゃん子だった。幼い頃の記憶でよく思い出すのは、祖母と何度も何度も歩いた保育園までの長い階段。何段あったかは忘れたが、私はよく道端にいる昆虫やトカゲなどの小さな動物を追いかけまわし、時間を忘れて観察した。そのような時、いつも祖母は何も言わずに私を待っていてくれた。

今も好きなサッカーはこの頃から始めた。サッカーは高校まで続けたが、小学校と中学校の時の顧問の先生がとにかく厳しかった。練習では、足の感覚がなくなるまで走らされ、顧問の先生の指示に従わなかった時は容赦ない指導

少年時代、必死に練習をこなし続けたサッカーは、自分を支える糧となっている(上段左から4番目が本人)



を受けた。気持ち悪くなるまで走らされた回数は数えきれない。でも、この時身につけた粘り強さは、自分を支える糧となっている。

小学校では6年間いじめられ役だった。しかし、決していじめ役の子の思い通りにならない「粘り強いいじめられ役」だったことには自信をもっている。仲間はずれにされたら、仲間に入れてくれるまでついていった。物を隠された時は、見つかるまで探し続けた。悪口を言われたら、相手が言わなくなるまで訂正し続けた。小学校を卒業する頃には、最後は誰も私をいじめなくなった。気が付けば、みんな仲のいい友達になっていた。

浅野 さとし



浅野さとしと友達になろう
satoshi.asano.564



浅野さとしをフォローしよう
Asano_Satoshi

